

令和6年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

白川村青少年育成村民会議

令和6年度活動の重点

「ひととのかかわりを深めよう」

- ①互いの良さを見つめ合う「あったかい言葉がけ」活動の実践
- ②地域で地域の子を見守る安心安全対策（青少年育成推進委員会の実践）

「あったかい言葉がけ」活動の実施

白川村では毎年、7～9月に全村民を対象とした「あったかい言葉かけ一行詩」「あったか川柳」の募集を行っております。取り組み始めた当初は、家族の絆やあったかい家族のつながりを目的とした、子から親へ、親から子への一行詩を募集していました。その後、「地域で地域の子を育む」ことや、「地域のつながりを深める」ことにも着目することで、現在のような全村民を対象とした取り組みへと変化してきました。白川郷学園がコミュニティ・スクールとなってからは、より一層地域のなかでの担い手育て活動が活発になり、子どもたちの登下校時のふれあい活動や、夏休みの子ども会活動であるラジオ体操などにも多くの地域の方が参加され、地域の大人と子どもたちとのかかわりの場が増えてきました。それにより、あったかい言葉かけ一行詩やあったか川柳の作品にも、地域のつながりを感じる作品が増え、より一層あたたかさを感じる事ができています。

作品の紹介 令和6年度募集作品より 家庭・地域各部門のあったか大賞を紹介

おかあさんへ

いつも私が家を出るとき元気よく「行ってらっしゃい」と言ってくれてありがとう。それが1日の私が一番落ち着く時間です。表に出さないけど心の中は元気になってるよ。ありがとう。（6年生 児童）

除雪エキスパートの方々へ

雪道運転とっても不安ですが、白川村の除雪隊の方々には感謝です！！

他の地域へ行けば白川村の除雪の素晴らしさがよくわかります。皆さんは神です！！登校時間・出勤時間に併せて早朝からご苦労様です。これからもよろしくお願いします。（学園 保護者）

地域で地域の子を見守る安心安全対策

7月、12月、3月の生徒・児童の長期休暇時と9～10月の祭礼前にあわせて、学校の生徒指導担当、保育園、駐在所の警察官を合わせた白川村生徒指導部会との合同会議を行っています。合同会議では、子どもたちの生活の様子などを各々の立場から情報共有を行い、「地域の子どもは地域で育てよう」というチラシを作成し、区長会を通じて全世帯に配布されます。その時々に合わせて啓発する内容を変え、今年度は、未成年者の深夜外出についてのルールの再確認や闇バイトの危険性などについて重点的に啓発を行いました。現在年4回の合同会議に加え、青少年育成推進委員会単独での会議を行っておりますが、次年度以降この会議のあり方や効率的な情報共有ネットワークの構築について検討していきたいと思っております。